

令和5年度指定管理者評価委員会 会議録（要旨）

日 時	令和5年8月3日（木） 13:00～15:15	
場 所	静岡県庁別館 20階第1会議室A（静岡市葵区追手町9番6号）	
出 席 者	< 委員長 >	宮城島 史人（ふじのくに観光振興アドバイザー）
	< 委 員 >	荒巻 太枝子（静岡県シェアリングネイチャー協会理事） 井戸 直樹（ネイチャースクール森のたね代表） 船戸 修一（静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科 教授） 松原 里穂（広報PRコンサルタント） 眞野 匡雄（静岡県中小企業団体中央会理事）
	ほか、指定管理者及び事務局	
評価対象者	株式会社ヤタロー（県立森林公園森の家、県立森林公園指定管理者）	
内 容	令和4年度における指定管理者の取組に対する評価	

【注意】

- ・各発言者の要旨を記載している。
- ・公開に当たり、委員名は特定しない。委員長については、委員長としての発言のみ特定している。

株式会社ヤタローのプレゼンテーションに対する質疑応答

< 質疑応答 >

○委員 県立森林公園森の家施設と県立森林公園施設の指定管理者の一体化により充実した印象を受けました。各施設が別々に行っていたプログラムを一本化したものはありますか？また一体化による不具合があれば、教えてください。

もう一点、イオンモールでの企画展示は初めて聞きました。どのような形で行ったのか、教えてください。

○指定管理者 県立森林公園施設森の家施設、県立森林公園施設が別々に行っていたプログラムで一本化したものは、自然観察会や『ムッレ』という子供向けの自然体験プログラム等を、宿泊とセットとし、親子で楽しむプログラムを企画しました。参加人数は減りましたが、満足度は大幅にアップしています。自然体験プログラム、講習について不具合はありませんでした。

イオンモールでの企画展示は、エントランス下方の広いコート进行全面借り、クラフト体験コーナー、イノシシや狸等の剥製と一緒に写真がとれるコーナー、地域の観光紹介コーナー等いくつかのコーナーを設置し、一日行いました。クラフト体験は木工体験館で出た端材を使った自由工作や、森林公園のアカマツ林のマツボックリを使った体験など、森林公園の利用者が体験することを、イオンに買い物にきた、森に関係がない方々へ森の香りを感じていただくイベントを行いました。イベントに参加したご家族が、森林公園を利用することもありました。また森林林業が盛んな浜松市が取り組んでいる FSC の取り組み、パンフレット、チラシを配下して PR も行いました。

○委員 広報に力を入れ、宿泊サイトの口コミの返信等、丁寧に対応しています。1月から3月の閑散期の広報活動を教えてください。また、プログラムが豊富で素晴らしいですが、報告書を見ると、採算が合わないものがありました。撤退基準や、変更する頻度、基準を教えてください。

○指定管理者 広報活動は、新聞紙面やテレビの取材、昨今は SNS を通し、その時期の特徴的な宿泊プラン、料理の告知、プログラムは SNS でリアルタイムの情報発信をしました。1月から3月は、森林公園は閑散期となりますが、森の家では、体の中から温まれる料理を提供し、レストラン営業や宿泊プランを告知しています。3月は、暖かくなるので、春の旬の素材を生かした懐石料理の告知や、宿泊プランの展開をして集客に努めています。各種プログラムの収支について、当方はチャレンジを推奨し、新しいプログラムや目的が明確なプログラムは、多少赤字でも継続します。PDCA を繰り返し、新しいものが生まれることを阻害しないよう、積極的に取り組んだ結果ですので、赤字のプログラムも継続し、利用者に喜んでいただけるプログラムを開催したいと思います。

森林公園施設では、冬に体験できるプログラムを企画し対応しています。例えば、冬鳥や、冬芽の観察、暖を取り防災グッズにもなるロケットストーブ作りなど、冬ならではの素材を活用した取組を展開しています。

○委員 報告書の8ページについて、レストランの利用人数が減少していますが、利用金額は大きく上がっています。客単価が2,000から2,800円程度ですが、値上げや、新メニューの追加等、利用金額が上がった理由を教えてください。

○指定管理者 レストラン利用金額には、一般の昼食夕食以外に、宿泊者の夕食の料金も含まれます。宿泊される方は懐石料理となり、単価は4,000円や5,000円など、一般の昼食夕食の2倍から3倍程度の額ですので、宿泊者の増加に伴い、レストランの利用金額が増加となりました。

○委員 値上げはしていませんか。

○指定管理者 値上げも若干しています。

○委員 相変わらず素晴らしい取り組みをされ、新しい体制となり、より充実したと思います。幅広い年齢層にプログラムを提供し、素晴らしいと思います。何年も続けてるプログラムがあると思いますが、どこを対象とし、力を入れていくのか、ビジョンを教えてください。

○指定管理者 若い世代、中間の世代、高齢の世代それぞれニーズが異なるので、アンケート調査を行い、できる限り年代別のニーズに応えるプログラムを展開したいと考えています。ニーズは二極化しています。一つは健康増進、もう一つは自然の情報をより深く知りたい、専門知識を身につけたいというニーズです。体験感、満足できる取り組みを、掘り下げて展開したいと考えています。プログラムの開催は、一体管理となり、メリットデメリットや課題も生じています。例えば蛍鑑賞で親子に見てもらいたいにも関わらず、平日に開催したため、大人の蛍鑑賞になってしまいました。このような課題もあり、期日やターゲット層も含め、課題が判明したので良い年だったと思います。

また、企業の森づくり活動の中で、アミラーゼチェックに協力いただいたのですが、健康という切り口で、近隣の総合病院と連携し、運動面や健康面に特化したプログラムや、目的に沿った食の提供をする統合的なプログラムの提供を考えており、進めていきたいと考えています。

○委員 多様なプログラムを提供され、魅力的な取り組みだと思います。コロナは落ち着き、野外活動に対するニーズも引き続きあると思います。活動内容を見ると、地元の小・中学

校との連携と記載がありました。特に小学校と連携を図ると、さらに参加人数は増えますので、今以上の参加人数が見込めると思いました。

○委員 一体化してさらに進化したと思います。炊飯棟やキャンプ場の利用状況の説明をお願いします。また、ホームページを見たところ、2020年5月21日付けで、「コロナ対策としてマスク着用」との記載がありました。施設利用時にマスク着用が必要かどうか、教えてください。

○指定管理者 炊飯棟とキャンプ場の利用状況について、森林公園の中に西谷奥池というため池があり、耐震上補強が必要とのことで、西部農林事務所が8月から3月まで工事を行いました。炊飯棟とキャンプ場がため池の上流部にあり、工事車両が頻回に出入りすると危ないので、両施設の利用を9月から3月まで中止にしたため、利用促進が困難でした。また7月から9月は、県内のコロナ感染者数が大幅に増加しました。かき入れ時にコロナと工事の関係があり、利用者を確保できず、目標を達成できませんでした。

コロナ対策ですが、3月末に国の方針が示され、卒業式にはマスク着用不要となりましたが、施設管理者としては安全に利用いただきたいため、施設の利用人数の制限、会話時はマスク着用の徹底を呼びかけました。令和5年度の6月13日からは、イートインコーナーの1テーブル2人まで、会話時はマスク着用を推奨と表現を和らげ、国が示した個々の判断に任せるという方針に沿い、利用者に協力を求めました。

指定管理者選定時の提案書でも、キャンプ場の有効利用について記していますが、工事の関係や、春先から、フェンスの周辺でイノシシによる掘り起しが確認され、安全が確保されていない状況です。キャンプ場の運営を安全にできるかどうか判断し、進めたいと思っています。安全を優先していくことは理解ください。

ホームページにマスク着用等が記載されている件は、コロナが五類となりましたが、スタッフは引き続きマスクを着用しているので、そのまま掲載していました。現在は取り除くように手配しています。

○委員 中部東部の利用者が少しずつ増えていますが、圧倒的に少ないです。中部東部で出張イベントを行うと効果的だと思いますが、どうでしょうか？

○指定管理者 遠方から出張イベントの要望がありますが、イベントは費用も人数もかかってしまいます。中部東部で開催できる機会があれば、前向きに取り組みたいと考えています。また今年度から、過去の利用者へ、DMを送付し、持参いただけたら、特典を付与したり、中部東部等の旅行会社へ宿泊プランや、体験プログラム等の営業に回っています。さらに利用者の獲得に向け、対応していきます。

○委員 イノシシ被害や枯損木発生の報告がありました。3者で毎月1回打ち合わせをしているとのことですが、自然環境の危機に関する情報共有も行っていますか？また、枯損木処理は、緊急性が高いと思いますが、県から人の派遣等の手立てがあるのか教えてください。

○指定管理者 枯損木及び情報共有ですが、当方が現場を把握し、緊急性が高い場合は西部農林事務所に報告をし、3者打合せの際に現場確認、と繰返しています。今年度は林道沿いの危険木を処理します。優先度の高いものから順に担当者、業者とやり取りしながら進めています。台風で通行止めとなった場合は、当方から報告を上げ、協力体制をとり、対応しています。

先ほどの地元小学校との連携について、補足説明します。3～4年前から、各学校がSDGsの取り組みを進める中、当方にも、森の自然を学ぶ講座ができないかという問い合わせをいただき、講座の実施をしています。内容は、多岐に渡っており、オンラインで子供達と話しながら進める授業形態や、学校へ出張し、話をする形態でも行いました。また、午前中にSDGsの取組みと関連のある森の保全作業の現場を見学し、午後にまとめをする、1日のプログラムも行っています。浜北区及び北区の近隣エリアの小学校からのオファーが多く、どの学校も身近な自然を知りたいと考えているようです。地元学校との連携は、今後発展する可能性があると考えています。

<評価決定及び講評>

○委員長 議事を再開します。株式会社ヤタローの評価結果について、各委員の皆様の合計点から平均点を計算しましたところ、93.3点になりました。

静岡県立森林公園森の家施設等指定管理者評価に関する運用基準に照らし合わせると総合評価としては「優」として評価をすることになりますが、よろしいでしょうか？

(異議なし)

それでは県立森林公園森の家施設及び県立森林公園施設の指定管理者の評価については「優」で決定をいたします。

(株式会社ヤタロー入室)

○委員長 評価結果をお伝えします。評価結果は「優」となりました。

毎年非常に高い評価ですが、今年も非常に高いと思います。今後もよろしく願いいたします。

各委員から一言ずつ講評をお願いします。

○委員 県立森林公園は、市街地都市部に近い公園であることが大きな特徴と思います。他にはない特徴ですので、利用者のニーズが多様化していますね。多様な利用者がある中で、丁寧に答えているという印象です。

チラシも、第1に森を前提とし、どこに行けばどのような体験ができるか、わかりやすく記載され、とても評価できます。一体化したことで、森に泊まり、ヒメボタルの観察や、秋の虫の音観察というプログラムがあり、ゆったりと体験することができると報告がありましたが、興味深く、面白いと思いました。

一方で都市部に近いため、多様な利用者がいると思います。マナーの問題や、『えっ』ということも起きると思いますが、危機管理に関しても、丁寧に対応されている印象です。昨今の気候変動による自然環境の変化で、管理する側は大変と思いますが、迅速に対応されていると思います。利用者が多いので、森林公園で木が倒れると、どこにどのように倒れたかが気になる場所と思いますが、対応されていると思いました。

バードピアの企画展は、森の樹木だけではなく、生き物を前提にしています。行く度に企画展のポスターの変化が見られ、どの生き物が注目されているのかが分かります。ホームページでも、生き物発見ラリーがダウンロードでき、生き物を前面に出すことで動きが分かり、身近に感じると思います。

○委員 各施設には目的があり、森の家は研修、自然触れあい合い体験等を通じて森林及び林業に対する理解を深めること、森林公園は自然に親しむ保養休養森林を学ぶ場とあり、この目的に対して真摯にプログラムを作り、幅広く行っていると十分に感じとれました。

さらに、森林林業に対する理解を深めた後、組織として目指す森林林業の姿、また森林林業は様々な分野で課題が多いの状態ですので、課題にどうアプローチしていくのか、指定管理の目的からは外れるかもしれませんが、目指してやっていただければ良いなと思いました。

○委員 慣れた、安心できる運営をされていると思いました。森林を利用した消費の面、教育やイメージを活かした宿泊など、十分できていますし、指定管理者の目的にも沿っており、問題ないと思います。期待することは、浜松は天竜杉を中心とした人工林として、全国的に有名な場所です。林業経営と森林教育の理解が繋がるのが理想だと思います。今回の趣旨とは別の目標設定かもしれませんが、森林に対する教育、啓蒙活動が、浜松を中心とした林業経営と繋げられると良いと思います。展望があれば、考えたいと思いました。

○委員 SNS の活用法について、さらに踏み込んでデータを分析し、フォロワーを増やす、リーチを広げると良いと思いました。広報カレンダーを Google ドキュメントで管理し、プログラムを全て入力し、一週間に1度はテーマのネタを投稿するよう、月に1回程度企画会議をすると、投稿する方が迷わずに文章を作れるので、運用が楽になると思います。また、写真が素敵ですので、文字入れも試してみてもどうでしょうか。テキストを読まなくても興味のある投稿にたどり着きやすいです。例えば今月の見どころを一枚目に文字入れし、スライドすると、見頃のお花、鳥の写真等 10 枚まとめて投稿する方法です。投稿を工夫すれば、より集客が伸びると思いました。

○委員 宿泊型体験プログラムの導入や、一体管理による相乗効果が出ていると感じます。今までも良かったですが、さらに良くなり、申し分のない運営がされている印象です。その中で、利用者の声では、トイレの蓋とテレビのサイズについて多く上がっています。県も予算を考えていただければと思います。また、食事の時の後片付けが非常にせわしく、不満を持っている方が複数人いますので、対策を考えてください。従業員には、利用者にそのような思いをさせないように、言っていただければと思います。

○委員 ホームページ等を見ましたが、その中で、植物図鑑やおうちミュージアムは非常

に興味があります。興味を引くものを、1面に持ってくると、家族連れ等の集客に良いのではと思いました。

またお風呂の評価が他から比べると低いので、何が原因か分かりませんが、一度泊り、森を歩き、実感してみたいと思います。これからも頑張ってください、良い施設になればと思います。

これで県立森林公園森の家及び県立森林公園指定管理者の評価は終了しました。